断腸

名前（　　）　日づけ（　／　）　できた数（　／28）

使い方　書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。**この話の山は使役「命じて〜しむ」、確定条件「至れば」、そして母猿の悲しみと桓公の怒り**です。

あらすじ＝東晋の桓温（桓公）が軍を率いて蜀に入り、長江の三峡にさしかかったとき、部隊の中の一人が子猿を捕まえた。母猿は岸に沿って悲しげに泣き叫びながら百里あまりも追いかけ、とうとう船に跳び移ったが、たどりつくとすぐに息絶えた。腹を裂いてみると、腸がずたずたに断ち切れていた。これを聞いた桓温は怒り、子猿を捕まえた者を職から退けさせた。

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

①桓公（くわんこう）蜀（しよく）に入（い）り、三峡（さんけふ）の中（うち）に至（いた）る。②部伍（ぶご）の中（なか）に③猿子（ゑんし）を得（う）る者（もの）有（あ）り。④其（そ）の母（はは）岸（きし）に⑤縁（よ）りて⑥哀号（あいがう）し、⑦行（ゆ）くこと百余里（ひやくより）にして去（さ）らず。遂（つひ）に⑧跳（をど）りて船（ふね）に上（のぼ）り、⑨至（いた）れば⑩便即（すなは）ち絶（た）ゆ。⑪破（やぶ）りて其（そ）の腹中（ふくちゆう）を視（み）れば、腸（はらわた）皆（みな）⑫寸寸（すんずん）に断（た）えたり。公（こう）⑬之（これ）を聞（き）きて怒（いか）り、⑭命（めい）じて其（そ）の人（ひと）を黜（しりぞ）けしむ。

語注　桓公＝東晋の武将・政治家、桓温（かんおん）。「公」は身分の高い人を敬って呼ぶ言い方。　蜀＝今の中国・四川省のあたり。　三峡＝長江（揚子江）の上流にある、両岸に山がせまった三つの峡谷。　部伍＝部隊・隊列。　猿子＝子猿。　縁りて＝沿って。　哀号＝悲しんで泣き叫ぶこと。　百余里＝百里あまり。昔の中国の「里」は、日本の「一里（約4キロ）」よりずっと短い。　便即ち＝すぐに。　絶ゆ＝息が絶える。　寸寸に＝ずたずたに。　黜く＝官職をやめさせる・退ける。　※原典（『世説新語』の古い本）では「猿」を「猨」と書いています。「猨」は「猿」と同じ字の別の形です。この問題では、ほかの字もふくめて日本の字体に直しました。　※書き下し文は教科書によって少しずつちがいます。「三峡の中（なか）に至る」「猿の子を得たる者有り」「岸に縁（そ）ひて」「其の腹中を破り視れば」「破りて其の腹の中を視れば」「寸寸（すんすん）に」などと読むものや、「跳」を「とぶ」と読むものもあります。お使いの教科書に合わせてください。

A　語句の意味と読み（1〜7）

（1）②「部伍（ぶご）」の意味を書け。

（2）⑤「縁（よ）りて」の意味を書け。

（3）⑥「哀号（あいがう）し」の意味を書け。

（4）⑧「跳（をど）りて船（ふね）に上（のぼ）り」の「跳りて」の読みを現代仮名遣いの平仮名で書き、意味も書け。

（5）⑩「便即（すなは）ち絶（た）ゆ」の「絶ゆ」の意味を書け。

（6）⑫「寸寸（すんずん）に断（た）えたり」の「寸寸に」の意味を書け。

（7）⑭「命（めい）じて其（そ）の人（ひと）を黜（しりぞ）けしむ」の「黜」の意味を書け。

B　句法（8〜12）

（8）⑦「行（ゆ）くこと百余里（ひやくより）にして去（さ）らず」の「去らず」について、白文「不去」の「不」の読みと、「去らず」の意味を書け。

（9）⑨「至（いた）れば」の「ば」は、どのような条件を表すか。活用形の名前を使って説明せよ。

（10）⑩「便即（すなは）ち絶（た）ゆ」の「便即」の読み方と意味を書け。

（11）⑭「命（めい）じて其（そ）の人（ひと）を黜（しりぞ）けしむ」は、何という句法か。句法の名前と、「命じて〜しむ」の訳し方を書け。

（12）⑭の白文「命黜其人」に、書き下し文「命じて其の人を黜けしむ」に合うように返り点をつけよ。

C　主語・指す内容（13〜17）

(13)　③「猿子（ゑんし）を得（う）る者（もの）有（あ）り」の「者」とは、どのような人か。

(14)　④「其（そ）の母（はは）」の「其」は何を指すか。

(15)　⑧「跳（をど）りて船（ふね）に上（のぼ）り」の主語は何か。

(16)　⑬「之（これ）を聞（き）きて怒（いか）り」の「之」は、どのようなことを指すか。

(17)　⑭「命（めい）じて其（そ）の人（ひと）を黜（しりぞ）けしむ」で、命じたのは誰か。また、「其の人」とは誰のことか。

D　口語訳（18〜21）

(18)　②③を含む「部伍の中に猿子を得る者有り」を口語訳せよ。

(19)　④⑤⑥⑦を含む「其の母岸に縁りて哀号し、行くこと百余里にして去らず」を口語訳せよ。

(20)　⑧⑨⑩を含む「遂に跳りて船に上り、至れば便即ち絶ゆ」を口語訳せよ。

(21)　⑪⑫を含む「破りて其の腹中を視れば、腸皆寸寸に断えたり」を口語訳せよ。

E　内容・記述（22〜24）

(22) ⑦「行（ゆ）くこと百余里（ひやくよより）にして去（さ）らず」から、母猿のどのような気持ちが読み取れるか。三十字以内で書け。

(23) ⑬「之（これ）を聞（き）きて怒（いか）り」とあるが、桓公が怒ったのはなぜだと考えられるか。四十字以内で書け。

(24) ⑭「命（めい）じて其（そ）の人（ひと）を黜（しりぞ）けしむ」という処分から、桓公はどのような人物として描かれていると読めるか。母猿の死をどう受け止めたかと、部下をどうあつかったかの両面から説明せよ。

F　文学史・故事（25〜28）

(25) ①「桓公（くわんこう）」とは誰のことか。どの王朝の人物かもあわせて書け。

(26) この話の出典の書名と編者、および収められている篇の名を書け。

(27) ⑫を含む「腸皆寸寸に断えたり」からできた故事成語（漢字二字）と、その意味を書け。

(28)「断腸の思い」の使い方として正しいものを、次から一つ選べ。　ア　宝くじが当たって、断腸の思いでよろこんだ。　イ　断腸の思いで、長年続けてきた店をたたむことにした。　ウ　大好物のケーキを、断腸の思いでおいしく食べた。　エ　久しぶりに友人に会えて、断腸の思いがした。

【テスト直前チェック】この三つ　❶「命じて〜しむ」は使役。「使・令」の字がなくても、「命」があれば下の動詞に「しむ」をつけて「命令して〜させる」と読む。「其の人を黜けしむ」＝その者を（職から）退けさせた。　**❷「至れば」は已然形＋ば＝確定条件。**「（船に）たどりつくと」。「便即ち」は二字で「すなはち」、意味は「すぐに」。　**❸主語の入れかわりに注意。**子猿をつかまえたのは部下、追いかけて死んだのは母猿、怒って処分したのは桓公。「其の人」＝子猿をつかまえた部下。記述問題の答えはこの区別に集まります。

▸ 漢文の参考書のおすすめ（楽天・Amazonのリンクつき）　kotennosennsei.com/kanbun-sankousho/　　▸ 解説記事にもどる